

小ギク *Dendranthema grandiflorum* (Ramat.) Kitamura キク科

1 経営的特徴と導入方法

小ギクは、元来仏花用の花として消費されてきたが、近年育種が進みスプレーギクとの区別が明確でなくなっているが、小ギクの場合、露地生産が多く流通価格もスプレーギクを下回る。

本県の小ギク栽培は、輪ギク・スプレーギクと組み合わせた栽培が多く、産地としてのロットが小さい。輪ギクと同様に、長期安定継続出荷の可能な産地づくりが必要である。

経営的には、輪ギクに比べ摘らい作業の時間が少なく、スプレーギクに比べると種苗費がかからないが、輪ギク・スプレーギクより高い単価は望めないため、低コスト化に努める必要がある。

表1 10a 当たり旬別所要労働時間 (単位: 時間)

月	1 月			2 月			3 月			4 月			5 月			6 月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
時間	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	2.0	5.0	16.0	46.0	10.0	36.0	43.0	50.0	4.0	20.0	6.0	27.0	7.0

7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			合計
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
10.0	9.0	8.0	200.0	70.0		5.0	1.0	1.0	1.0	36.0	6.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	642.0

(注) 1. 秋田県作物別技術・経営指標(1996.2)

2. 出荷本数 32,400本/10a 露地・8月出荷

2 生理生態

輪ギクを参照にする。

3 作型と品種

小ギクは輪ギクの「精雲」や「秀芳の力」のような主力品種がないため、県内では一般的に日長処理による開花調節を行わず、品種を変えることにより開花期を変えている場合が多い。そこで、近年試験を行った品種に合わせた露地栽培の作型を表2に示した。

表2 作型と品種

作 型	品 種	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
夏秋ギク露地旧盆出し栽培	むさし、いそべ、よいこ、ななみ、えりか、かおり			∩トンネル∩	V◎×	—————	□			
夏秋ギク露地秋彼岸出し栽培	つとむ、かじか、このみ、花車、祭典				V◎×	—————	□			
秋ギク露地10月出し栽培	初雪、はやぶさ、しのめ、みのり、おきな、映子、紅鳥、芳香					V◎×	—————	□		

表3 8月咲き品種の採花期と切花品質 (平成11年 フラワーセあおもり)

花色	品種名	切花長 (cm)	葉 数 (枚)	茎 径 (mm)	切花重 (g)	収 穫 期 盛 期
白	むさし	74.2	37.5	5.3	36.9	7月29日
	いそべ	73.3	33.4	5.5	45.2	8月9日
	よいこ	94.1	43.2	6.8	70.1	8月9日
黄	ななみ	67.5	28.6	5.3	36.0	7月29日
	まつかぜ	63.1	33.1	5.4	33.1	8月9日
	ほたる	58.0	33.4	5.0	37.5	7月29日
赤	えりか	59.8	40.3	5.5	37.6	7月29日
	かおり	96.3	41.3	6.5	54.7	8月12日
	赤トンボ (標準)	64.6	20.6	5.1	33.0	8月2日

耕種概要

- (1) 栽植様式：うね幅100 cm、条間30 cm、株間15 cm 2条植え
- (2) 施肥量(kg/a)：N：P₂O₅：K₂O=1.0：1.0：1.0
- (3) 挿 し 芽：4月13日
- (4) 仮 植：4月28日
- (5) 摘 心：4月30日 3本仕立て
- (6) 定 植：5月18日
- (7) トンネル被覆：5月18～31日

表4 9月咲き品種の採花期と切花品質 (平成10年 フラワーセあおもり)

花色	品種	切花長 (cm)	葉数 (枚)	茎径 (mm)	切花重 (g)	収穫期 盛期	白さび 病の発 生状況
白	大空	90.2	33.1	5.5	52.6	9月11日	無
	つとむ	105.6	34.9	5.6	50.6	9月14日	無
	はやと	95.6	32.0	6.3	64.8	9月16日	無
黄	小道	83.1	24.7	5.7	53.5	9月9日	中
	かじか	108.2	48.1	5.8	61.0	9月21日	無
赤	祭典	102.2	36.5	5.5	58.2	9月14日	無
	このみ	102.2	36.8	6.5	76.7	9月2日	無
	花車	97.0	24.6	5.5	59.8	9月4日	無

※ 白さび病の発生状況は、達観調査による。

耕種概要

- (1) 栽植様式：うね幅150cm、条間12cm、株間12cm 4条植え
- (2) 施肥量(kg/a)：N：P₂O₅：K₂O=1.0：1.0：1.0
- (3) 定植時期：5月27日
- (4) 摘心：6月11日 3本仕立て

表5 10月咲き品種の採花期と切花品質 (平成12年 フラワーセあおもり)

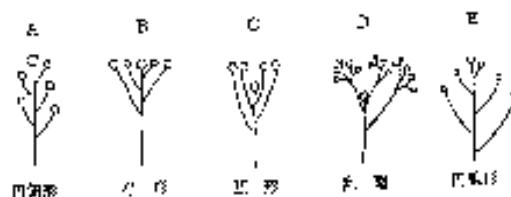
花色	品種名	切花長 (cm)	葉数 (枚)	分枝数 (本)	分枝 発生率 (%)	茎径 (mm)	切花重 (g)	花房形	収穫期 盛期
白	たくま	47.7	22.4	10.9	49	3.9	28.2	BC	10/7
	初雪	97.3	40.1	9.4	23	5.8	73.8	BC	10/20
	はやぶさ	75.5	43.8	13.3	30	4.9	48.6	AE	10/21
黄	しののめ	68.3	35.4	19.0	54	4.4	51.4	AE	10/5
	つどい	53.6	23.5	15.4	66	4.2	39.9	AEB	10/1
	みのり	91.1	36.7	20.3	55	5.1	72.6	C	10/23
	おきな	87.3	39.4	11.6	29	5.5	63.8	AC	10/26
桃	たまえ	53.6	27.8	13.1	47	4.3	36.1	AEB	9/29
赤	映子	64.4	29.9	16.6	56	4.6	49.6	AE	9/29
	紅鳥	81.2	38.2	15.4	40	4.9	66.9	EB	10/23
	芳香(標準)	76.9	35.2	17.8	51	5.6	73.4	EB	10/10

※ 分枝発生率=分枝数/葉数

※ 花房形については、右図参照。

3) 耕種概要

- (1) 栽植様式：うね幅140cm、条間30cm、株間15cm 4条植え
- (2) 施肥量(kg/a)：N：P₂O₅：K₂O=1.0：1.0：1.0
- (3) 挿し芽：6月5日
- (4) 定植：6月23日
- (5) 摘心：6月29日 3本仕立て



4 栽培

1) 育苗

(1) 苗床の準備

ア 改良資材 (kg/a) 堆肥 : 100kg

イ 施肥 (kg/a)

窒素 : リン酸 : 加里 = 0.5 ~ 1.0 : 0.5 : 0.5 ~ 1.0

ウ a 当たりの床面積 : 1.0 ~ 1.5m²

(2) 冬至芽の伏せ込み

ア 冬至芽長さ 5 ~ 6 cm

イ 間隔 3 × 8 cm、深さ 2 cm 位とする。

(3) 挿し芽の準備

ア 芽が動き出したら浅く摘心する。

(4) 挿し芽

ア 展開葉 5 枚位、長さ 5 ~ 6 cm、下葉 1 ~ 2 枚とする。

イ 挿し土 川砂

ウ 挿し芽間隔 2 × 2 cm、深さ 2 cm 位

エ 温度管理 最低温度約 10℃

2) 定植

(1) 定植ほ場の準備

ア 施肥基準 (成分量 kg/a)

堆肥 : 200kg

窒素 : リン酸 : 加里 = 0.8 ~ 1.0 : 0.4 ~ 0.5 : 0.8 ~ 1.0

イ 栽植様式

床幅 50 ~ 60cm、通路 50 ~ 60cm

条間 30cm、株間 15cm、2 条植え、3 本仕立て

5 主要病害虫とその防除

輪ギクを参照する。

6 収穫・調製・出荷

2 ~ 3 輪開花した時に行う。切り前は市場によって若干異なるので、出荷する市場の切り前を把握した上で収穫する。

7 切り花後の管理

切り花終了後は追肥を土寄せをしておく。

参考・引用文献

- 1) 青森県農業研究推進センター、「平成 12 年度指導奨励事項・指導参考資料」
- 2) 青森県農業研究推進センター、「平成 13 年度指導奨励事項・指導参考資料」

小ギク栽培ごよみ

月	旬	生育 状況	作 業	栽 培 の 要 点	摘 要																								
3	上	株 養 成	畑準備 挿し芽 定植 摘心 切花 開 花 期 株 伏せ込み 株 養 成	1 作型 <table border="1"> <thead> <tr> <th>作 型</th> <th>品 種</th> <th>挿し芽</th> <th>定植</th> <th>摘心</th> <th>収 穫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏秋ギク露地旧盆 出し栽培</td> <td>むさし、よいこ、ななみ えりか、かおり</td> <td>4月 上旬</td> <td>4月 下旬</td> <td>4月 下旬</td> <td>7月下旬 8月上旬</td> </tr> <tr> <td>夏秋ギク露地秋彼 岸出し栽培</td> <td>つとむ、かじか、このみ 花車、祭典</td> <td>5月 上旬</td> <td>5月 下旬</td> <td>5月 下旬</td> <td>9月中旬 ～下旬</td> </tr> <tr> <td>秋ギク露地10月 出し栽培</td> <td>初雪、はやぶさ、 しのめ、みのり 映子、紅鳥、芳香</td> <td>6月 上旬</td> <td>6月 下旬</td> <td>6月 下旬</td> <td>10月上旬 ～下旬</td> </tr> </tbody> </table>	作 型	品 種	挿し芽	定植	摘心	収 穫	夏秋ギク露地旧盆 出し栽培	むさし、よいこ、ななみ えりか、かおり	4月 上旬	4月 下旬	4月 下旬	7月下旬 8月上旬	夏秋ギク露地秋彼 岸出し栽培	つとむ、かじか、このみ 花車、祭典	5月 上旬	5月 下旬	5月 下旬	9月中旬 ～下旬	秋ギク露地10月 出し栽培	初雪、はやぶさ、 しのめ、みのり 映子、紅鳥、芳香	6月 上旬	6月 下旬	6月 下旬	10月上旬 ～下旬	
	作 型				品 種	挿し芽	定植	摘心	収 穫																				
	夏秋ギク露地旧盆 出し栽培				むさし、よいこ、ななみ えりか、かおり	4月 上旬	4月 下旬	4月 下旬	7月下旬 8月上旬																				
夏秋ギク露地秋彼 岸出し栽培	つとむ、かじか、このみ 花車、祭典	5月 上旬			5月 下旬	5月 下旬	9月中旬 ～下旬																						
秋ギク露地10月 出し栽培	初雪、はやぶさ、 しのめ、みのり 映子、紅鳥、芳香	6月 上旬			6月 下旬	6月 下旬	10月上旬 ～下旬																						
中																													
下																													
4	上	育 苗			畑準備 挿し芽 定植 摘心 切花 開 花 期 株 伏せ込み 株 養 成	2 育 苗 (1) 苗床の準備 ア 改良資材 (kg/a) 堆肥：100 kg イ 施肥 (kg/a) 窒素：りん酸：加里=0.5～1.0：0.5：0.5～1.0 ウ a当たりの床面積：1.0～1.5㎡ (2) 冬至芽の伏せ込み ア 冬至芽長さ 5～6 cm イ 間隔 3×8 cm、深さ2 cm位とする。 (3) 挿し芽の準備 ア 芽が動き出したら浅く摘心する。 (4) 挿し芽 ア 展開葉5枚位、長さ5～6 cm、下葉1～2枚とる。 イ 挿し土 川砂 ウ 挿し芽間隔 2×2 cm、深さ2 cm位 エ 温度管理 最低温度約10℃																							
	中																												
	下																												
5	上	育 苗 ・ 定植						畑準備 挿し芽 定植 摘心 切花 開 花 期 株 伏せ込み 株 養 成	(1) 苗床の準備 ア 改良資材 (kg/a) 堆肥：100 kg イ 施肥 (kg/a) 窒素：りん酸：加里=0.5～1.0：0.5：0.5～1.0 ウ a当たりの床面積：1.0～1.5㎡ (2) 冬至芽の伏せ込み ア 冬至芽長さ 5～6 cm イ 間隔 3×8 cm、深さ2 cm位とする。 (3) 挿し芽の準備 ア 芽が動き出したら浅く摘心する。 (4) 挿し芽 ア 展開葉5枚位、長さ5～6 cm、下葉1～2枚とる。 イ 挿し土 川砂 ウ 挿し芽間隔 2×2 cm、深さ2 cm位 エ 温度管理 最低温度約10℃																				
	中																												
	下																												
6	上	開 花	畑準備 挿し芽 定植 摘心 切花 開 花 期 株 伏せ込み 株 養 成	(1) 苗床の準備 ア 改良資材 (kg/a) 堆肥：100 kg イ 施肥 (kg/a) 窒素：りん酸：加里=0.5～1.0：0.5：0.5～1.0 ウ a当たりの床面積：1.0～1.5㎡ (2) 冬至芽の伏せ込み ア 冬至芽長さ 5～6 cm イ 間隔 3×8 cm、深さ2 cm位とする。 (3) 挿し芽の準備 ア 芽が動き出したら浅く摘心する。 (4) 挿し芽 ア 展開葉5枚位、長さ5～6 cm、下葉1～2枚とる。 イ 挿し土 川砂 ウ 挿し芽間隔 2×2 cm、深さ2 cm位 エ 温度管理 最低温度約10℃																									
	中																												
	下																												
7	上	開 花 期										畑準備 挿し芽 定植 摘心 切花 開 花 期 株 伏せ込み 株 養 成	(1) 苗床の準備 ア 改良資材 (kg/a) 堆肥：100 kg イ 施肥 (kg/a) 窒素：りん酸：加里=0.5～1.0：0.5：0.5～1.0 ウ a当たりの床面積：1.0～1.5㎡ (2) 冬至芽の伏せ込み ア 冬至芽長さ 5～6 cm イ 間隔 3×8 cm、深さ2 cm位とする。 (3) 挿し芽の準備 ア 芽が動き出したら浅く摘心する。 (4) 挿し芽 ア 展開葉5枚位、長さ5～6 cm、下葉1～2枚とる。 イ 挿し土 川砂 ウ 挿し芽間隔 2×2 cm、深さ2 cm位 エ 温度管理 最低温度約10℃																
	中																												
	下																												
8	上	株 伏せ込み			畑準備 挿し芽 定植 摘心 切花 開 花 期 株 伏せ込み 株 養 成	(1) 苗床の準備 ア 改良資材 (kg/a) 堆肥：100 kg イ 施肥 (kg/a) 窒素：りん酸：加里=0.5～1.0：0.5：0.5～1.0 ウ a当たりの床面積：1.0～1.5㎡ (2) 冬至芽の伏せ込み ア 冬至芽長さ 5～6 cm イ 間隔 3×8 cm、深さ2 cm位とする。 (3) 挿し芽の準備 ア 芽が動き出したら浅く摘心する。 (4) 挿し芽 ア 展開葉5枚位、長さ5～6 cm、下葉1～2枚とる。 イ 挿し土 川砂 ウ 挿し芽間隔 2×2 cm、深さ2 cm位 エ 温度管理 最低温度約10℃																							
	中																												
	下																												
9	上	株 養 成						畑準備 挿し芽 定植 摘心 切花 開 花 期 株 伏せ込み 株 養 成	(1) 苗床の準備 ア 改良資材 (kg/a) 堆肥：100 kg イ 施肥 (kg/a) 窒素：りん酸：加里=0.5～1.0：0.5：0.5～1.0 ウ a当たりの床面積：1.0～1.5㎡ (2) 冬至芽の伏せ込み ア 冬至芽長さ 5～6 cm イ 間隔 3×8 cm、深さ2 cm位とする。 (3) 挿し芽の準備 ア 芽が動き出したら浅く摘心する。 (4) 挿し芽 ア 展開葉5枚位、長さ5～6 cm、下葉1～2枚とる。 イ 挿し土 川砂 ウ 挿し芽間隔 2×2 cm、深さ2 cm位 エ 温度管理 最低温度約10℃																				
	中																												
	下																												
10	上	株 養 成	畑準備 挿し芽 定植 摘心 切花 開 花 期 株 伏せ込み 株 養 成	(1) 苗床の準備 ア 改良資材 (kg/a) 堆肥：100 kg イ 施肥 (kg/a) 窒素：りん酸：加里=0.5～1.0：0.5：0.5～1.0 ウ a当たりの床面積：1.0～1.5㎡ (2) 冬至芽の伏せ込み ア 冬至芽長さ 5～6 cm イ 間隔 3×8 cm、深さ2 cm位とする。 (3) 挿し芽の準備 ア 芽が動き出したら浅く摘心する。 (4) 挿し芽 ア 展開葉5枚位、長さ5～6 cm、下葉1～2枚とる。 イ 挿し土 川砂 ウ 挿し芽間隔 2×2 cm、深さ2 cm位 エ 温度管理 最低温度約10℃																									
	中																												
	下																												
11	上	株 養 成										畑準備 挿し芽 定植 摘心 切花 開 花 期 株 伏せ込み 株 養 成	(1) 苗床の準備 ア 改良資材 (kg/a) 堆肥：100 kg イ 施肥 (kg/a) 窒素：りん酸：加里=0.5～1.0：0.5：0.5～1.0 ウ a当たりの床面積：1.0～1.5㎡ (2) 冬至芽の伏せ込み ア 冬至芽長さ 5～6 cm イ 間隔 3×8 cm、深さ2 cm位とする。 (3) 挿し芽の準備 ア 芽が動き出したら浅く摘心する。 (4) 挿し芽 ア 展開葉5枚位、長さ5～6 cm、下葉1～2枚とる。 イ 挿し土 川砂 ウ 挿し芽間隔 2×2 cm、深さ2 cm位 エ 温度管理 最低温度約10℃																
	中																												
	下																												
12	上	株 養 成			畑準備 挿し芽 定植 摘心 切花 開 花 期 株 伏せ込み 株 養 成	(1) 苗床の準備 ア 改良資材 (kg/a) 堆肥：100 kg イ 施肥 (kg/a) 窒素：りん酸：加里=0.5～1.0：0.5：0.5～1.0 ウ a当たりの床面積：1.0～1.5㎡ (2) 冬至芽の伏せ込み ア 冬至芽長さ 5～6 cm イ 間隔 3×8 cm、深さ2 cm位とする。 (3) 挿し芽の準備 ア 芽が動き出したら浅く摘心する。 (4) 挿し芽 ア 展開葉5枚位、長さ5～6 cm、下葉1～2枚とる。 イ 挿し土 川砂 ウ 挿し芽間隔 2×2 cm、深さ2 cm位 エ 温度管理 最低温度約10℃																							
	中																												
	下																												
1	上	成						畑準備 挿し芽 定植 摘心 切花 開 花 期 株 伏せ込み 株 養 成	(1) 定植ほ場の準備 ア 施肥基準 (成分量 kg/a) 堆肥：200 kg 窒素：りん酸：加里=0.8～1.0：0.4～0.5：0.8～1.0 イ 栽植様式 床幅50～60cm、通路50～60cm 条間30cm、株間15cm、2条植え3本仕立て 4 収穫 2～3輪開花したときに行う。 5 株養成 切花終了後は追肥と土寄せをしておく。																				
	中																												
	下																												

